

新入学児童に「いかのおすし」プレゼント



わくわく・ドキドキした入学式から約2月経ち新入学児童も少しは学校生活に慣れてきた頃と思います。

小学生になると登下校時や放課後に子ども達だけで過ごす時間が増え、さらに行動範囲が広くなり交通事故や事件に巻き込まれる危険性が高まります。子ども達が被害に遭わないよう、地域ぐるみで見守り活動にご協力下さい。



肝付地区防犯協会では、管内の新入学児童（132名）に対し、「いかのおすし自由帳」を配布しました。

自分の身を守るために「いかのおすし」を忘れないようにしましょう。

★不審者対応訓練を実施 —内之浦中—

4月11日（木）に、令和6年度最初の不審者対応訓練を内之浦中学校で実施しました。この日は雨のため、計画していた運動場での訓練を体育館で行いました。

訓練では一人でいるときに不審者に遭遇した場合、どのように対処したらいいかの講話がありました。講話のあと、実際に不審者から身を守るための簡単な護身術や不審者からの誘いや問いかけに、どのように行動するかを署員が不審者役となり実際の行動の仕方を学びました。



署員の話に聞き入る生徒

万が一、不審者に遭遇したときは「いかのおすし」を思い出してあせらずに落ち着いて行動しましょう。

★あいさつ運動展開中

4月11日（木）、地域見守り隊の皆さんが高山小学校正門前で、早朝立哨を行いました。この日は春の全国交通安全期間とも重なり、学校関係者、役場職員も立哨しました。

児童の「おはようございます。」の元気なあいさつに朝から元気をもらいました。



★「ながら見守り活動マグネットシート」配付

肝付地区防犯協会と肝付警察署では、肝付町・東串良町の社会福祉協議会とシルバー人材センターに「ながら見守り活動マグネットシート」を配付しました。今後は、公用車による業務をしながら防犯等の見守りをお願いいたします。

